

【活動報告】 キーワード：東京商工会議所青年部、渋沢栄一、顕彰事業、東邦レマック株式会社

2023年2月13日

報道機関各位

東京商工会議所



ト キ ョ ー ワ イ ー ジ ー ア ワ ー ズ
渋沢栄一翁の理念を体現する東商青年部会員を顕彰

TOKYO YEG AWARDS 2022受賞企業5社を決定
 ～大賞は東邦レマック株式会社（文京区／靴の製造・販売）に決定！～

東京商工会議所青年部（井上博貴会長・愛知産業(株)社長）は、「TOKYO YEG AWARDS 2022」の受賞企業5社を、下記のとおり決定しましたので、お知らせします。

当事業は、東商初代会頭の渋沢栄一翁が「論語と算盤」で唱えた「智」「情」「意」の理念を実践する経営に取り組む当所青年部会員を顕彰し、コロナ禍による逆境を切り拓く契機とすること、好事例の見える化によりビジネス機会の創出を図ることを目的に昨年度から開始し、今回は2回目の開催となりました。

今回、12社から応募があり、一次選考の書類審査・映像審査を実施した結果、上位5社が最終選考に進みました。2月10日（金）に開催した最終選考会では、5社によるプレゼンテーションが行われ、東商青年部所属会員によるWEB投票の結果、「大賞1社、優秀賞1社、奨励賞3社」を決定、同日表彰式を実施しました。

大賞には東邦レマック株式会社が選出されました。同社はユーザファーストだけではなく、経営者と社員が協働し一丸となり逆境を乗り越える熱意と行動力、女性や妊婦など様々な方に配慮した商品開発・事業展開を行っている点が高く評価されました。

受賞企業には、賞状の授与に加え、最終選考プレゼン・表彰式の様子を中心に動画編集をした「受賞企業PR動画」等を副賞として贈呈します。また、青年部HP (<https://www.tokyo-cci.or.jp/seinenbu/index.html>)にて各社の取り組み事例を紹介する他、今後、青年部の活動においても好事例として周知を図り、各社のPRを支援してまいります。



(左：井上博貴青年部会長
 右：東邦レマック(株) 笠井取締役)

【TOKYO YEG AWARDS 2022 受賞企業一覧 ※奨励賞は50音順】

大賞	東邦レマック株式会社	取締役 笠井 信剛	文京区	靴の製造、卸、直販	111名
受賞ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ニッチな需要を把握し、最適な商品展開し社内でのアイデアをうまく商売に結びつけており、また社会貢献活動も充実している点を評価。 ・ファッションと機能技術を研究され、一人一人の想いを追求されている企業姿勢に感心した。 				
優秀賞	株式会社大鵬	代表取締役 大屋 幸子	大田区	飲食店経営	4名
〃	<ul style="list-style-type: none"> ・町工場など連携し、しかも事業を通じ地球環境に取り組まれていて素晴らしい企業活動をされている。 ・異業種連携や人との繋がりを大切にした結果、成功に繋がったという実績は、より多くの異業種連携や人との繋がりを大切に作るモデルケースになり得る。 				
奨励賞	株式会社アイエスゲート	取締役 小林 祐基	墨田区	医療支援システム販売	3名
〃	<ul style="list-style-type: none"> ・社会課題・時流を的確にとらえ、ソフトウェア開発業から、ソリューション提供の業務にシフトする挑戦を高く評価。 ・聴覚障害者や外国人など健診を受けにくい方達への心配りが素晴らしく、社会貢献性の高い事業を展開されていることがよく伝わる。 				
奨励賞	有限会社精工パッキング	代表取締役 平井 秀明	葛飾区	平板打ち抜き加工	4名
〃	<ul style="list-style-type: none"> ・ベンチャースピリッツに溢れ、新たなことに挑戦する姿勢、各種メディアへの出演やクラウドファンディングなどで広報活動に積極的な点を高く評価。 ・小ロット多品種の製造にも対応するきめ細やかさ、オリジナルの加工技術に取り組み、挑戦し続けた成果が素晴らしい。 				
奨励賞	株式会社ユナイテッド・ワン (未来デザイン賞受賞)	代表取締役 CEO 岩橋 潤二	品川区	スポーツ関連事業企画等	6名
〃	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを通じ各課題に向け各事業が有機的、相互的に展開され、多くの関係者を巻き込み具体的な展開ができていた点が好評価だった。 ・健康をテーマとした事業展開はさらに関心度を高めている分野であり、社会的意義のある事業を従業員と共に築きあげていることが、とてもよく伝わった。 				